

令和5年度 長野県岡谷工業高等学校 学校評価[最終評価]

学校番号 53 岡谷工業高等学校

1 学校教育目標と重点目標

No. 1

学校教育目標	重点目標（中・長期的目標）			学校評議員によるアドバイス
<p>教育基本法ならびに学校教育法の精神に則って、次の目標を達成することに努める。</p> <p>(1) 人格の形成をめざし社会の一員としての必要な資質・能力を養うため、教養を高める。</p> <p>(2) 日本の工業の構築発展を支える技術者として、地域に根ざした教育活動から、技能・知識・態度を修得する。</p> <p>(3) 本校の伝統の校訓「質実剛健」、「至誠一貫」、校是「技術者たる前に人間たれ。」の精神を涵養する。</p>	<p>地域社会から求められる生徒を育成し、より魅力有る工業高校の姿を求める。</p> <p>(1) 学力の一層の向上に努める。 (2) クラブ活動の充実と活性化に努める。 (3) 地域との連携により、社会に運動した魅力と活力のある学校づくりに努める。</p>			<p>再編に向け難しい局面に来ていると思いますが、今現在の岡工の魅力を維持していっただけだと思います。 コロナ感染症が5類移行となったことで対外活動も行われるようになりました。クラブ活動の活性化及び地域との連携に更に務めていただきたいと思います。</p>
	<p>今年度の重点目標</p>			<p>学校評議員によるアドバイス</p>
	<p>(1) 生徒の学力を伸ばし、進路実現へとつながる教育 ア 観点別評価のフィードバックと授業改善による個に応じた指導と学力の向上 イ ICT機器の利用・授業公開・参観による教員の資質・能力の向上 ウ キャリア教育の充実による、社会を担い貢献できる生徒の育成 エ コミュニケーション能力や情報活用・発信能力に優れた人材の育成</p>			<p>授業参観させていただく中で、教員の方々が、生徒たちに寄り添い、しっかり目を配りながら授業をしている様子がよくわかりました。 先生方におかれましては、学力向上に向けて大変なご苦労をいただいていることがわかりました。先生方には健康には十分気を付けて頂き子供達のご指導を引き続きよろしく申し上げます コミュニケーション能力は社会に出て必要なものと感じるところ。引き続きの人材育成に期待します。</p>
	<p>(2) 生徒一人ひとりが、安全で生き生きと充実した高校生活をおくる環境づくり ア 挨拶の励行、清掃の徹底による学習環境の整備（5Sの徹底） イ 各種コンテスト、資格取得や技能検定の情報提供と積極的な挑戦への支援 ウ 生徒会活動、部活動の一層の充実・発展 エ いじめ、体罰のない安心安全な学校 オ 支援を必要とする生徒や悩みを抱える生徒への相談・支援体制の充実 カ 情報モラル・IoT教育の計画的な指導（HR, 学年, 生徒指導, 進路指導 連携）</p>			<p>アについて、評議員会の折りにはいつも気持ちの良い挨拶をしてくれて、それが日常的に徹底されていると思います。また、常に実習室が整理整頓されており、学びの場として整然と保たれている様子がすがすがしいです。 アの挨拶の励行と清掃ですが、挨拶出来る社会人を目指して力を入れていただきたいと思います。社会へ出てから、仕事出来る出来ないに関わらず第一印象は挨拶が出来るかどうかです。切に願います。また古い校舎といえども清掃が行き届いていれば印象はかなり違います。生徒達には頑張っていただきたいと思います。 学校内においては自主的に挨拶ができていますと感じました。校外においても自然と挨拶ができるようになることより良いことと思います。</p>
<p>(3) 地域に根ざし、地域に情報を発信し、地域の期待に応える、魅力ある開かれた学校づくり ア 学校開放・地域貢献・地域連携・地域活性化・ボランティア活動への積極的な取り組み イ 国・県の指定事業、各種団体の助成事業の積極的な活用 ウ 小中学校におけるものづくり教育の連携 エ 高大連携事業 オ 広報活動の強化（HP等による積極的な紹介、生徒による学校訪問） カ 地域の子どもたちから「あこがれの岡工生」としてみられる生徒の育成 キ 再編へ向けた魅力づくり ク 近隣地域の清掃活動（周辺のごみ拾い、落ち葉片づけ等）</p>			<p>小中学校のものづくり教育への協力、深く感謝いたします。岡谷のものづくり教育には欠かせない取り組みであると思います。今後も宜しくお願いいたします。 マスコミを有効活用した地域への情報発信、並びに、進学予定者等（中学生・保護者等）に向けての幅広い情報発信について、今後も継続を期待します。</p>	

2 評価項目と評価の観点

領域対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	内部評価	学校評議員によるアドバイス	外部評価
教育活動	教育課程	教育課程の検討	<p>令和5年度高等学校教育課程研究協議会（県教委：学びの改革支援課主催）への参加。 ①国語・数学・保健体育・外国語（9月4日：伊那市生涯学習センター） ②地歴公民・理科・家庭・情報・総則特活（9月5日：伊那市生涯学習センター） ③音楽・工業（9月8日：総合教育センター） 各部会では、新学習指導要領に沿った授業のあり方と観点別評価について研究協議を実施。 参加者は協議内容を科会で報告するとともに資料を回覧して、現有の教育課題を校内で共有した。 新学習指導要領に沿ったカリキュラムへの移行期間であるため、教育課程表の新たな検討事項はなかった。 今後の課題として、新入生の募集人数減および学校の統廃合に伴う教育課程の見直しが必要となる。</p>	B	<p>研究協議の内容を実践して、良いものを作り上げてください。 教育課程研究協議会での研究協議、現有課題共有後、授業実践を積み重ねる中で見直しと研究がおこなわれたことと思います。 研究協議を実施したことが、今後の教育目標に活かされるよう期待します。</p>	A
		選択科目の計画	<p>令和6年度選択科目計画書により、選択科目の配置と業務スケジュール等を提案。（9月20日：職員会議） 2学年集会による選択科目説明会を実施し、進路に適した科目選択の指導を強化。（10月19日：第2体育館） 連絡文書と希望調査用紙を各家庭に配布し、親子で進路を考えるきっかけを促した。（10月19日：担任） 2学年担任の支援の下に、進路指導に併せてた相談業務と選択科目調査用紙の回収。（11月2日：担任） 希望の集計と個人面談による人数調整を行い、開講条件に沿った選択講座(案)を策定。（12月1日：係・担任） 各教科における選択講座(案)の承認と保護者・生徒への告知と確認。（12月18日：保護者懇談会） 選択講座(案)の職員会議提案と次年度に向けた名簿の作成。（1月31日：係） 選択科目の指導をきっかけとして、生徒の進路意識の高揚を図るとともに、より丁寧な支援を行うことができた。 今後の課題として、生徒がより明確な進路目標に沿って学校生活を送るための更なる工夫・改善が望まれる。</p>	B	<p>進学率の増加により、習熟度別の授業を更に進めて頂きたい。 計画的に進められていて良いと思います。ひとりひとり個に応じたサポートを継続してください。</p>	A
		シラバスの作成	<p>シラバスに沿った教育実践と評価活動の推進および1・2学年での観点別評価の完全実施を提案。（4月12日職員会議） 各教科より集約した令和5年度シラバスの確認・決裁と、岡工ホームページでの一般公開。（5月1日） 来年度全学年で新学習指導要領が完全実施されることを踏まえ、実践の見直しとその改善策を思考。（12月26日委員会） 新規導入された観点別評価の基準について、学校の実態に即し公開に耐える内容を検討。（12月26日委員会） 職員相互の共通理解を深め、シラバスのフォーマットを校内で標準化し、内容の充実を図る。（12月26日委員会） 令和6年度用シラバスの作成依頼とその集約を計画的に進める。（1月以降） 今後の課題として、多岐にわたる科目のシラバスを1つの学校としてバランス良く取りまとめ推進していくための工夫が必要であること。また作成したシラバスが単なるお題目とならないよう、その具体的・実践的な活用方法を模索する。</p>	B	<p>新学習指導要領の授業実践を職員相互の理解を基にさらに深めてください。 ホームページも拝見しましたが、各教科ごと、工夫されたシラバスが作成されており、どのような点に注意して授業を受ければよいかわかりやすく、良いと思います。 シラバスに対しての実施状況と改善点を明らかにし、是非次年度につなげていただきたいと思います。</p>	A

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	内部評価	学校評議員によるアドバイス	外部評価
学習指導		学力の向上	学力の把握および観点別評価により学びの課題を明確にし、PDCAサイクルを活用した学習指導が行えたか。また授業アンケート等をおして生徒の声に耳を傾け、学習活動の工夫・改善を行うことができたか。	活動方針と年間業務計画を明示し、学習指導の共通理解を深めるための提言。(4月12日職員会議) 内規に沿ったテスト監督の手引きの見直しと指導体制の確認。(4月12日職員会議) 進学者向け夏季特別講習の運営実施。【数学・物理：大学受験対策】(夏季休業中及び5月より継続的に火木の週2回) 生徒向け「第1回授業アンケート」の実施。【全校生徒・全科目対象】(9月20日職員会議) 学びの改革支援課主導「第1回学びの指標アンケート」の実施【全校生徒対象】(9月20日職員会議) 生徒向け「第2回授業アンケート」の実施。【全校生徒・全科目対象】(12月6日職員会議) 学びの改革支援課主導「第2回学びの指標アンケート」の実施【全校生徒対象】(12月6日職員会議) 追認定テストの計画と試験監督。【成績不振者対象】(成績会議終了後以降) 生徒向けアンケートの結果より、「授業への取り組み」「課題の提出」「わかりやすい授業」ともに9割以上の生徒から「良い～普通」の回答があり、学習活動全般には特に問題は感じられない。	B	生徒の差異による理解度や進学に向けた補講など出来る範囲で取り組んで欲しい。様々な方法により、工夫改善をおこなっていると思います。授業アンケートを実施したことにより、何がどのように改善されたのかの評価も知りたいところです。PDCAサイクルを通じて取り組まれた目標や数値が、目で見て分かれば良いと思います。	A
		家庭との連携	本校の学びに対する保護者の理解を求め、適切な説明責任を果たすことができたか。また保護者懇談会や家庭連絡票の活用等により、保護者との適切な情報共有を行い、家庭との円滑な連携を図ることができたか。	新入生の保護者を対象に、学習と部活動・資格取得が岡工生活の両輪であることを強調し、本校の学習指導方針に対する理解を求めた。(4月5日入学式保護者説明会) PTA地区懇談会において、本校の学習指導への理解と協力を深めるための資料作成と懇談説明を実施。(6月以降12地区にて実施) 「教科連絡票」を活用し、生徒の具体的な学習状況を教科担当者のコメント(紙面)を示して保護者に伝えることで、家庭との密接な連携を図った。【欠課・成績不振者対象】(7月18日からの保護者懇談会) 同様に、「教科連絡票」を活用し、生徒の具体的な学習状況を詳細に保護者に伝え、進級・卒業に向けた保護者との意思疎通を図った。また、2学年では進路目標に向けた学習の在り方と選択科目の確認を行った。(12月18日からの保護者懇談会) 今後の課題として、ひとり親家庭や共働き家庭が増加する中で、保護者と学校がゆとりを持って関わるのがより困難な傾向にある。	B	家庭への情報提供やまた理解度を勘案しながら、連携を深めていると思います。保護者の理解がどのくらいか気になるところです。時に、家庭との連携が行われていると思います。地区懇談会への出席はどうなのでしょう。概ね出席であれば、本意は伝わっていると思われます。引き続き保護者との情報共有および連携の継続を期待します。	A
		資格取得の推進	各種資格取得の管理・運営をとおして、生徒の意欲的な活動を支援することができたか。また資格取得のための指導や補習指導を積極的にを行い、生徒の自主性をサポートすることができたか。	資格取得一覧表(のべ60種)を作成し、資格取得の推進を図る。(4月26日職員会議) 第88回計算技術検定の運営と統括。【3級159名 合格率84%・4級17名受験 合格率81%】(6月16日実施) 第89回計算技術検定の運営と統括。【2級11名 合格率27%・3級4名受験 合格率50%】(11月17日実施予定) 第70回情報技術検定の運営と統括。【2級48名 合格率57%・3級1名受験 合格率0%】(6月23日実施) 第71回情報技術検定の運営と統括。【2級36名・3級125名】(1月19日実施予定) 技能講習会の運営と統括。【高所作業車特別教育16名・クレーン特別教育21名・玉掛け技能講習27名・フォークリフト特別教育46名】(7月1日から毎週土日のべ9日間実施) 資格・検定の年度内実績を集計。(国家資格の実績は全国工業高等学校長協会に報告)(12月13日職員会議) 令和6年度資格・検定の定表の作成。(年度末3月までに集約する予定) 今後の課題として、技能講習会への参加者が減少傾向にある。そこで現2学年の生徒を対象に受講への予備希望調査を行い、令和6年度はフォークリフト特別教育のみを実施することを決定した。(12月6日職員会議)	B	資格取得の推進は以前から取り組んでいると思うが、社会に出て有意義だった資格は何か。職員の方々の資格取得に対してのフォローが多く見られた。時間のある学生時代に。多くの資格に挑戦させることは良いと思います。積極的に資格を取得したい生徒がいましたらご協力をお願いします。多くの生徒が資格取得に向けて努力しており、良いと思います。これまでの資格取得状況を提示し、今後も資格取得の支援をお願いしたい。	A
		開かれた学校づくり	中学生・保護者・地域等に向けて、本校の教育活動を理解してもらうための適切な情報発信と働きかけができていないか。また公開授業により本校の特徴と魅力を発信し、来校者の要望に応える活動ができたか。	春季公開授業の計画と運営。【受付者数のべ166名】(4月22日実施) 実施後、来校者アンケートを集約し、寄せられた意見の全文をまとめ職員会議で共有。(5月10日職員会議) 外部学校評価活動(6月27日より年3回：学校評議員会) 秋季公開授業の計画と運営。【受付者数のべ86名】(10月17日・18日：2日間実施) 同様に、来校者アンケートを集約し、職員会議で共有。(10月25日職員会議) 春季および秋季公開授業は、職員相互の授業公開と研究授業を兼ねて実施。 授業アンケート結果の集約とまとめを行い岡工ホームページにて公開。(年2回 11月と2月を予定) 学びの指標アンケート結果の集約とまとめを行い岡工ホームページにて公開。(年2回 11月と2月) 今後の課題として、公開授業への参加者が減少していることから、中学校および地域に向けて、より活発な学校の広報活動が望まれる。	B	下記「教務」の「地域に開かれた学校作り」と同じ内容のため、この学習指導の項目から外しても良いと思います。岡工の魅力や現場を見ながら、公開していることは大事であり、中学生の気持ちも大事であるが、岡工の専門性の有利なことをアピールして欲しい。多くのアンケートが寄せられ、関心の高さを感じます。また、職員相互の授業公開、研究授業は授業向上に大変有効であると思います。今後も継続して行ってください。ホームページ等のツールも活用され、幅広く情報発信を実施されており良いと思います。	A
教育活動	家庭との連携	家庭や学校生活での行動の変化等の心配事や不安、事件・事故・問題行動発生時等に速やかに対応できるように家庭との連携が取れているか。	入学式・地区PTA・保護者懇談会を通して、本校の生徒指導の基本方針を保護者へ説明することができた。問題発生時には、関係部署と連絡を取り合い、保護者に説明し情報共有しながら対応している。	B	保護者との連携を密に情報の共有に務めている。今後も職員間で連携し、保護者との良好な関係維持に努めてください。引き続き情報共有をお願いします。	A	
	生徒への意識啓発	校内外で起こりうる事件・事故に対して正しく対処するにはどのようにしたらよいか考えさせ、また、常識ある行動を取れるように指導したか。	全校放送やHR連絡を通じて、機会あるごとに生徒全体に注意喚起を促し、自ら問題点を明らかにし、高校生としての自覚ある行動がとれるよう指導している。自転車事故については、警察とも密接な連携をとっている。また、薬物乱用防止講話は、長野ダルクより講師派遣、SNSに関する講話に関しては岡谷警察署より講師派遣をしていただき、留意点について学習を深めることができた。	B	講話など理解したか、気になることです。生徒への意識啓発は、いろいろな部門で重要と思っている。SNSでの危険性など実社会での例をあげて情報モラルの必要性を実施できていると思う。自転車の運転規制も厳しくなっている。ちょっとした悪ふざけが大きな問題になることも指導して欲しい。外部講師の派遣は効果的であると思います。情報が氾濫する時代、学校では把握しにくい案件が増えていくであろう中、意識啓発は重要な課題であると思います。外部講師を招いての学習、取り組みにより、より理解が深まり良かったのではないかと思います。	A	
	相談体制の充実	生徒が相談しやすい校内体制を整備し、それが安心安全な学校生活につながったか。	多様化が進む生徒たちの状況把握に努めるとともに、必要に応じ担任、養護教諭、そして教育相談および特別支援の各コーディネーターが状況により相談相手となっている。特に注意が必要な場合は生徒指導が慎重に対応している。また、南信教育事務所生徒指導専門指導員、スクールソーシャルワーカーの先生との懇談を行い、情報交換を行った。	B	場合によっては、スクールカウンセラーも必要かも知れません。具体的な相談内容はわからないが、生徒が安心して相談できる体制づくりを更に期待したい。職員間の連携が欠かせない課題であると思いますが、組織的に手厚く対応しておられ、家庭も安心して相談できたのではないかと思います。これからも、校内で開かれた体制づくりをしてください。チーム支援が行われる中において慎重な対応が必要となる場合もあろうかと思いますが、引き続きのご尽力をお願いします。	A	
	手続きのアカウントピリティ(説明責任)	生徒指導上の「指導」において、その根拠や手続きについて生徒や保護者に十分な説明と理解がされているか。	様々な場面で発生する問題行動への対応は、個々の生活環境や家庭環境によって異なるため、その都度係内で検討しながら最善の策を模索している。実際の指導に当たっては保護者が納得した上で協力してもらえるような環境作りをして取り組んでいる。	B	いろいろな考えを持つ保護者がいると思うが、連携調整しながら取り組んでいただきたい。相当に時間を必要とする場だと思えます。今後も粘り強く取り組んでください。保護者との信頼関係の構築が重要だと思います。	A	
	職員協力体制の確立	日常の生徒指導において、全職員の協力体制と情報共有ができていないか。	生徒指導は全職員が情報を共有し進めていかなければならない。従って、職員が同じ認識をもち、同じ指導をすることが必要である。科・係・学年など関係した部署で連携を取り情報共有しながら取り組んでいる。問題発生時の連携は特に慎重に実施している。	B	忙しい中での先生ではあるが、職員間の連携をさらに期待したい。生徒のこれからの人生に大きく関わることに必要でしょう。これからも慎重な対応をお願いします。今後も情報共有による認識の一致をお願いします。	A	

進路指導	進路希望に応じた進路の実現	生徒への進路情報の提供及び進路相談業務を通して、生徒の希望・能力・適性に応じた進路がかなえられるよう指導援助できたか。	3年については、7月の保護者懇談会にて最終の進路希望を確認した。採用状況は1月末時点で、企業への就職希望者83人中78名が内定をいただくことができた。公務員への内定は7名だった。進学希望者89名の内、大学へは国公立3名を含めて45名、短大へ1名が合格した。また、専門学校と技術専門学校は38名が合格した。進学の生徒は、大学も専門学校も学校推薦型選抜または総合型選抜等の推薦試験を利用して受験する生徒が多かった。今後も進路が確定していない生徒に対し、希望する進路が実現するよう担任、保護者と連携し進路指導を実施していく。	B	就職については求人企業も多い中、将来を見据えたアドバイスをお願いしたいし、進学する生徒に対しても先輩方の情報を入手しながら、情報をよりの確に伝えて頂きたい。進路指導は十分に取り組んでいると思います。生徒ひとりひとりの個に応じた指導助言が為されていると思います。コロナ禍で3年間過ごしてきた生徒たちへの進路指導は、また一段と難しかったのではないかと思います。全力で先生方がサポートしてくださっており感謝いたします。生徒個々にそれぞれの対応があり大変と思われませんがご尽力をお願いします。	A
	進路情報の収集	入試説明会や学校訪問に参加し、また、事業所訪問や求人票の受付業務等を通して、より詳細な情報提供ができたか、生徒が情報を得やすいように進路指導室および進路資料室を整備できたか。	今年度は感染症対策の緩和により、6月に1, 2, 3年全ての学年で会社学校見学を実施し、3年生については6月に企業研究会・進学相談会参加や本校体育館を会場に岡谷市合同企業説明会の開催などを実施することができた。2年生においては、上記合同企業説明会や秋の進学相談会への参加、年末と年始に企業説明会への参加を行い、多くの進路情報収集機会を設けることができた。また、内定後も企業を訪問し他校も含めた今年度の状況や、来年度への課題等をまとめ、1, 2学年担任に伝え、生徒へも情報提供を行って予定である。	B	会社説明会や企業訪問は就職する生徒や進学する生徒にも将来像が見える機会でもあり、情報提供を充実させたい。見学等、また実施できる状況になりよかったです。就職を考えている生徒に対し、目で見える機会を設定、提供していただくことは進路選択の一助になるものと思います。	A
	職業意識の形成	適切な進路計画の設定・実施を行ったか（インターンシップ・事業所見学・進学ガイダンス・模擬試験・進路講話など）。	年間を通じて、計画的に進路行事を実施することができた。特にコロナ禍でなかなか実施することができなかった7月の2年生全員を対象としたインターンシップ実施が実施できたことは、生徒たちの職業意識の形成に好影響を与えることができた。さらに、2年生では進学模試や進学補習を実施している。1年生では岡谷市協力のもと全員が諏訪圏工業メッセの見学を行った。また、各学年で進路ガイダンスや作文指導を実施している。これらの取り組みを進路選択や職業選択にとって重要な行事ととらえ、生徒の職業意識の形成に努めている。	A	以前から希望しているが、インターンシップは2年生を対象としているが、通年を通して出来る限り多くの現場を経験できるようカリキュラムを工夫して欲しい。カノラでの報告会も更に進化して欲しい。今年度は工業メッセも岡谷開催で、1年生にとってはとても良い機会であったと思います。私も見学に行きましたが、高校生が熱心に見学している様子は頼もしいものでした。就職を考えている生徒には、機会を通じて意識形成に繋がることを期待します。	A

領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	内部評価	学校評議員によるアドバイス	外部評価
特別教育活動	生徒会	生徒の自主活動	自主的、主体的な生徒会活動にできるよう本部役員が企画運営を考え活動する中で、達成感や充実感を得ることができたか。また、全校生徒が生徒会活動に対して意識を向上させることができたか。	感染症対策が緩和されたものの、今年度も感染症対策や熱中症対策をとり、生徒会行事を主体的に遂行した。昨年と同様、生徒総会など体育館に全校生徒が集まる行事については、ほぼコロナ前と同じような形態で行えた。しかし、季節性の感染症等を考慮し、映像やライブ配信とのハイブリッドで進めていきたい。岡工祭の一般公開は4年ぶりに開催することができた。直前に感染症の拡大が見られたため一部時間を短縮して行ったが、全校生徒が楽しめるような企画・運営をすることができた。また外部団体との関わりでは、岡谷市町づくり会議で岡谷市の将来を高校生視点で意見交換し、実現に向けて取り組んでいる。PTAとの合同で教室の壁のペンキ塗りも行った。またテイクアウト事業として地元飲食店を誘致し、弁当の販売を行った。その他の活動として、生徒会本部役員数の改定を生徒自ら行った。来年度は引き続き校則の見直しを進めていきたいと思う。	A	岡工祭は、特に準備段階で社会を知る機会になる。このような生徒が主体的に動ける活動は続けて欲しいと思います。久しぶりの岡工祭や生徒会活動での市のまちづくりへの取り組みも他校との連携により、地域社会奉仕の精神で活躍している。校内だけではなく、外部・地域とのかかわりの中で、年間を通じて様々な活動に取り組んでおり、生徒たちの自主性が培われていると感じます。岡工祭には、大変多くの地域の方が来校され、地域のみなさんの岡工への期待の高さを感じます。生徒の皆さんは頑張っていると思います。生徒会が主体的に運営をしている様子がうかがえました。	A
		部活動の充実	部活動に入っている生徒が日常のクラブ活動を充実させ、各クラブや各自が定めた目標に向けて意欲的に取り組めたか。また、各クラブの活躍を、学校内外に広く伝え、活動の励みにすることができたか。	バレー部は2年ぶりに出場した春高では、1回戦を突破した。電気部はロボコンin信州の各部門に出場して好成績を残し、マイコンカーラーの部門で優勝を果たした。その他多くのクラブでも成果をあげ、実績を残している。大会結果等は生徒会誌にも載せ伝え、各新聞にも取り上げられている。	A	伝統スポーツで優勝が欲しかった。運動系の競技は公立校という制約のなかでよく頑張っていた。バレーの春高出場は普段の練習の成果であり、ロボコンの全国4位やマイコンカーラーなど大いに成果を収めたと思う。生徒たちの活躍を新聞等で広く知らせることで、生徒たちもより頑張ることができていると思います。私たちが、日々新聞で生徒の活躍を見ることができ、励みになります。文化祭での発表も励みになっているでしょうし、地域の方たちにとっても、それは楽しみなことだと思います。部活動はメディアへ多く取り上げられる事によって岡工の印象が更に向上し、受験希望者の増加に繋がる事に期待できると思います。大会結果は勿論ですが、沢山ある部活動の活動を紹介するためだけでもメディアを活用しても良いのではないのでしょうか。クラブ活動の活躍が目や耳を通して伝わってきます。充実した学校生活を送っているものと感じられます。	A
学校運営	教務	より良い学校運営	・各係、委員会等との組織的な連携を図り、効率的な業務の推進に努めたか。 ・学校全体のバランスを見据え、諸行事の計画および実施において、より良い学校運営に努めたか。 ・変化する新型コロナウイルス感染症対策に対応した、適切な学校対応をおこなうことができたか。	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、各行事をコロナ禍前のように企画した。各係や委員会等と組織的な連携を図り、円滑な学校運営に努めた。職員会議で提案および議論を行うことで、職員間の意思疎通が高まると共に、適切な支援とサポートを行うことで、大きな混乱もなく学校運営が行われている。	B	生徒の自主性と職員の意味疎通をうまく連携も出来たと思う。5類に移行したとはいえ、ご苦労の多い一年であったと思います。今後も、生徒たちがマスクの下で委縮することのないよう適切なサポートをお願いします。引き続き、適切な支援とサポートを期待します。	A
		地域に開かれた学校づくり	・学校要覧、学校案内、学校パンフレット、学校ホームページ等を利用して、学校の魅力と特徴を発信し、地域にアピールすることができたか。 ・体験入学、学校見学等により、地域の中学生や保護者に対して、本校の教育活動を正しく理解してもらうことができたか。	ホームページへの記事の公開は昨年度よりも多くの記事を掲載できた。学校パンフレット(1500部印刷)の中学生、その保護者への配布を行い、随時積極的な情報発信に努めた。7月に行った体験入学(見学)では、中学生204名の参加、9月に行った体験入学(体験)では、中学生164名の参加があり、いずれもアンケート結果から好評であった。10月の公開授業および12月の入学者選抜説明会・クラブ見学会に参加いただくよう発信し、昨年度より参加者が増加した。	B	入学に興味がある生徒・保護者には、十分な情報発信ができていると思います。地域にアピールという点では、結果がわからないので何とも言えません。ホームページやパンフレット及び見学会を通して、時代にマッチした取り組みが行われている。折りに触れ、積極的に発信していただきたいと思います。こうした取り組みが入学者の増員につながるよう願っています。引き続き、ホームページの活用等、幅広く積極的な情報発信を期待します。	A
		入学者選抜業務	・入学者選抜説明会等を利用して、本校と募集の観点に沿った適切な説明を行うことができたか。 ・前期選抜および後期選抜ともに、綿密な計画のもとに、的確な選抜業務を行うことができたか。	教職員向け、中学生・保護者向けの入学者選抜説明会をそれぞれ12月実施に実施した。教員向けには18校、中学生保護者向けには中学生101名含む186名が参加した。教員向けは前年度並み、中学生・保護者向けは中学生の参加者が20名ほど増加した。新型コロナウイルス感染症の5類以降後の面接方法について変更を行ったり、募集定員の変更による評価・選抜方法について綿密な計画を立て、適正な入学者選抜に備えている。	B	職業専門学校への希望する生徒が減少する中、魅力ある高校のPRIは欠かせない。選抜説明会を含めさらにアピールしていただきたい。岡工の魅力を知り、より多くの中学生が受験してくれるよう期待しています。定員問題や学校再編の話などもあるところ、岡工の良いところの積極的なアピールを今後も期待します。	A